

付属資料7 求職者調査票（視覚障害者用）

「障害者雇用促進の方策に関する調査（求職者調査）」

公共職業安定所番号

この調査は、仕事を求めて求職活動していらっしゃる方の状況を把握し、障害者雇用にまつわるミスマッチ解消の方策を探るために行うものです。調査で得られた情報は厳守します。調査目的以外で用いることは絶対にありません。どうぞご協力よろしくお願いいたします。

記入上のお願い

- (1) 回答用の点字用紙を5枚用意してあります。回答は、それに点字でご記入ください。
- (2) 選択式の場合は、設問番号を記した後に、適当にマス空けして選択番号をご記入ください。
- (3) 記述式の場合は、設問番号を記した後に自由に回答をご記入ください。
- (4) 平成 17 年 4 月 1 日現在の状況についてご記入下さい。
- (5) 回答にあたり不明な点がありましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

障害者職業総合センター 研究部門

吉泉研究員、石川主任研究員、野中研究員、犬飼統括研究員

TEL 043-297-9065

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-3

I あなたご自身のことについてお尋ねします。

男性	女性
1	2

年齢	才
----	---

問1 障害の程度についてお答えください。

身体障害	1級	2級	3級	4級	5級	6級以下	不明
知的障害	重度		中度		軽度		
精神障害	1級		2級		3級		
	1	2	3	4	5	6	7

不明の場合：手帳に書かれている等級等

問2 障害の発症時期（進行性の場合は、手帳を交付された時期）をお答えください。

0歳	1
1歳～18歳	2
19歳～29歳	3
30歳～39歳	4
40歳以上	5
分からない	6

問3 最終学歴を記入してください（盲学校高等部卒など）。

Ⅱ 求職活動の状況についてお尋ねします。

問4 本格的に仕事を探し始めてからどのくらい経ちましたか。

1ヶ月未満	1
1ヶ月～3ヶ月	2
3ヶ月～半年	3
半年～1年	4
1年以上	5

問5 求職活動を始めた理由についてお答えください。

会社等をやめた（またはこれからやめる）ため	1
会社等をやめた後、休養を取っていたが働きたくなかったため	2
会社等をやめた後、家事手伝い等を行っていたが働きたくなかったため	3
社会福祉施設、養護施設をやめた（またはやめる）ため	4
会社等に在籍しているが、他に良い職場があれば転職したい	5
特に仕事についていなかったが、新たに働きたいため	6
学校を卒業（中退）し、社会人となるため	7
自営業等をやめた（またはやめる）ため	8
その他（ ）	9

→ 問6へお進みください。

→ 問7へお進みください。

（注）「会社等」とは会社、団体、役所などです。

問6 最後の仕事をやめてから求職活動を始めるまでにどれくらいの期間がありましたか？
（現在仕事を継続中の方は「1」とお答えください。）

1ヶ月未満	1
1ヶ月～3ヶ月	2
3ヶ月～半年	3
半年～1年	4
1年以上	5

問7 公共職業安定所（以下、「安定所」といいます）以外に相談した機関がありますか。
該当の番号すべてを回答用紙にご記入ください。

地域障害者職業センター	1
民間有料紹介機関	2
人材銀行等公的機関	3
医療機関	4
福祉機関	5
養護学校	6
保健所	7
前の職場	8
その他（ ）	9

Ⅲ 応募の状況についてお尋ねします。

問8 求職活動開始してから応募しましたか？

- はい 1 → 問10へお進みください
 いいえ 2 → 問8-1へお進みください

問8-1

1. 希望する条件を満たす求人がなかった → 問9へお進みください
2. 特に条件にはこだわらないが求人がなかった → 問13へお進みください
3. その他（回答用紙に自由にご記入ください） → 問13へお進みください

問9 希望する条件を満たす求人がなかった理由は何ですか（該当の番号をすべて回答用紙にご記入ください）。

金・給料が希望と合わない	1
求人年齢と自分の年齢が合わない	2
希望する職種や内容の仕事がない	3
勤務時間が長い・休日が少ない	4
勤務時間が短い・休日が多い	5
能力、経験等が求人要件に満たない	6
通勤時間がかかる	7
事業所規模が希望と合わない	8
障害者従業員数が希望と合わない	9
障害者に対する健康管理面の配慮に欠ける	10
障害者に対する業務面の配慮に欠ける	11
障害者に対する職場環境面の配慮に欠ける	12
その他（ ）	13



問13へお進みください。

問10 これまで求人に関わり何回くらい応募しましたか？ おおよその回数を以下の空欄に記入してください。

回くらい

問11 どのような方法で求人に応募しましたか？ 該当の番号すべてを回答用紙にご記入ください。

公共職業安定所の窓口	1
公共職業安定所主催の合同面接会	2
学校・各種学校	3
職業能力開発校	4
社会福祉施設	5
新聞広告・求人情報誌	6
障害者向け求人情報誌	7
インターネット	8
会社の就職説明会	9
民間人材あっせん機関	10
縁故	11
前の会社の紹介	12
求人票を見て直接応募	13
その他（ ）	14

問 12 応募の結果はどうでしたか？ 該当の番号すべてを回答用紙にご記入ください。

すべて書類選考で不合格であった	1
筆記試験、適性試験まで行ったが不合格になったものがあった	2
面接まで行ったが不合格になったものがあった	3
採用内定をもらったが断ったものがあった	4
その他()	5

IV 現在の求職希望状況などについてお尋ねします。

問 13 現在、希望する雇用・就業形態はどれに該当しますか。

1. 就業形態は短時間（週 20 時間未満）
 2. 就業形態は短時間（週 20 時間以上 30 時間未満）
 3. 就業形態はフルタイム（週 30 時間以上）
- } → 問 13-1 へお進みください。

問 13-1 派遣労働者かどうか

1. 派遣労働者 → 問 14 へお進みください。
2. 派遣労働者以外 → 問 13-2 へお進みください。

問 13-2 雇用期間の定めの有無

1. 雇用期間の定めはあり
2. 雇用期間の定めはなし

問 14 現在、希望する求職条件はどれですか。望ましいと思う条件（A）の番号をすべて回答用紙にご記入ください。
また、望ましいと思う条件のうち就職するために妥協してもよいと思う条件（B）についてもすべて回答用紙にご記入ください。

(A)

1. 生きがい、やりがいをもてる仕事である
2. 前職の経験・能力を生かすことができる
3. 仕事の内容に興味をもてる
4. 会社に将来性がある
5. 会社の規模が大きい、知名度が高い
6. 賃金が一定水準以上である
7. 正社員（雇用期間の定めがない）である
8. 自分の希望にあった勤務形態・勤務時間である
9. 仕事が軽易である
10. 通勤に便利である（車による通勤が可など）
11. 職場にいる障害者数が自分の希望と合っている
12. 社会保険に加入している
13. 健康相談、通院への配慮など健康管理面の配慮がある
14. 業務サポートなど障害者に対する業務面の配慮がある
15. 段差解消、障害者用トイレ、手すりの配置など職場環境面の配慮がある
16. その他（回答用紙に自由にご記入ください）

(B)

1. 生きがい、やりがいをもてる仕事である
2. 前職の経験・能力を生かすことができる
3. 仕事の内容に興味をもてる
4. 会社に将来性がある
5. 会社の規模が大きい、知名度が高い
6. 賃金が一定水準以上である
7. 正社員（雇用期間の定めがない）である
8. 自分の希望にあった勤務形態・勤務時間である
9. 仕事が軽易である
10. 通勤に便利である（車による通勤が可など）
11. 職場にいる障害者数が自分の希望と合っている
12. 社会保険に加入している
13. 健康相談、通院への配慮など健康管理面の配慮がある
14. 業務サポートなど障害者に対する業務面の配慮がある
15. 段差解消、障害者用トイレ、手すりの配置など職場環境面の配慮がある
16. その他（回答用紙に自由にご記入ください）

問15 現在、主にどのような職に就きたいと思いますか。希望する職種をご記入ください（事務、製造、販売など）。

問16 上記の仕事を行う際にあなたの持っている資格、技術、技能などで仕事に生かしたいと考えているものと今後取得したい資格などがありましたらそれぞれご記入ください。

「持っている資格など」回答用紙に自由にご記入ください。

「取得したい資格など」回答用紙に自由にご記入ください。

問17 現在、最低どのくらいの年収（税込み、万円）を希望していますか。回答用紙に自由にご記入ください。

問18 現在の就職の必要性は次のどれに近いですか。

すぐに就職したい	1
すぐというわけではないが就職したい	2
時間をかけて自分にあつた職場を探したい	3
無理に就職しなくてもよい	4
その他（ ）	5

問19 求職活動においてどのような支援が不足していると考えられますか。該当の番号すべてを回答用紙にご記入ください。

会社に対する障害者雇用全般についての啓発	1
会社に対する採用条件緩和の働きかけ	2
事業主と障害者が一堂に会する機会（集団面接会）の提供	3
就職に役立つ情報やノウハウの提供	4
求人に関する情報提供の充実	5
求職者の地元で需要（求人）のある職種に対応した訓練の実施	6
パソコン講習などの研修を受けるための給付制度の充実	7
トライアル雇用や正社員前提派遣の拡大	8
技術革新に対応した教育・訓練の充実	9
長期失業者や中・高年に対する職業訓練や職業体験機会の提供 （職業訓練を兼ねた就職・ボランティア団体での就労経験など）	10
中途障害者に対する復職に向けた職業ガイダンスやカウンセリングの提供	11
在職者に対する離職に向けた職業ガイダンスやカウンセリングの提供	12
障害者に利用しやすいサービスの提供	13
その他（ ）	14

問20 就職が決まった場合に心がけたいことは何ですか。それぞれについて該当の番号を回答用紙にご記入ください。

- (A) 健康面に一層気をつけたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (B) 社会生活技能（生計の維持や消費、社会資源の活用など）を向上させたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (C) 労働習慣（職業生活において必要な心構え、態度、コミュニケーション技能など）の習得に努めたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (D) 仕事を早くマスターしたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (E) パソコン技能を向上させたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (F) 外国語の会話能力を向上させたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (G) パソコンや外国語の専門能力を向上させたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (H) キャリア形成（関連した職務経験の連鎖を通して職業能力を形成していくこと）を図っていきたい (1. はい 2. いいえ 3. わからない)
- (I) その他にあれば回答用紙に自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました。